

# κύριος σαβαώθ

キュリオス サバオー

知っておきたいキリスト教のことば (168)

万軍の主 ばんぐんのしゅ

「♪立てよいざ立て、主のつわもの♪」という歌を覚えておられるでしょうか。歌詞を見ただけで口ずさむことができる方も、多いと思います。この聖歌は日本聖公会の古今聖歌集に収められているものです。(古今聖歌 412 番)

ところが 2006 年に新しい聖歌が出たとき、この歌はなくなっていました。愛唱聖歌にされている方も多かったのですが、その理由は「戦いを思い起こさせる」からだそうです。

聖書には、「万軍の主」や「万軍の神」といった表現が出てきます。この言葉は確かに当初、イスラエルの軍隊を導かれる主なる神という側面が強く押し出されていました。つまりイスラエルを導かれる神は戦いの主であるということです。

ところが預言者たちはそうではなく、天地万物の創造主としての神が、ここで言う「万軍の主」なのだと言います。一般的な「戦争」というよりも、すべての物を支配される方が、わたしたちを悪や誘惑から救い出してくださいという意味です。

先ほどの古今聖歌 412 番「立てよいざ立て」の歌詞の中に、このようなものがあります。

「すべてのあを滅ぼすまで きみは先立ち行かせたまわん」

この「あを」を目に見える特定の人物や集団に当てはめてしまうと、それは当然礼拝で用いるにはふさわしくないものになるでしょう。しかし「あを」とはわたしたちの心の弱さ、「きみ」は神さま(イエス様)だと考えれば、とても力強い信仰の歌と捉えることができるのです。

「万軍の主」とはわたしたちにとってどういうお方なのか、考えて見てもいいですね。

次回は「ピエタ」です。お楽しみに。



「悪魔を倒す聖ミカエル」

ラファエロ・サンティ

(1483-1520 年)

御覧なさい。畑を刈り入れた労働者にあなたがたが支払わなかった賃金が、叫び声をあげています。刈り入れをした人々の叫びは、万軍の主の耳に達しました。

(ヤコブの手紙 5 章 4 節)

